

大会宣言

台東区職労は、本日、第74回定期大会を開催し、向こう一年間の活動方針などすべての議案を決定して終了した。

特別区人事委員会は、2022年10月11日、月例給平均0.24%、一時金0.1月引き上げという勧告を行った。月例給は、初任給や若年層職員給与が引き上げられたものの、総職員の約半数に相当する中高年齢層給与は据え置きとなり、全職員が引き上げの対象とはならなかった。また、一時金支給については年度末手当を廃止し、2023年度から6月、12月の年2回支給とする内容であった。

台東区職労は、物価上昇率に遠く及ばない給与改定勧告内容に対して、さらなる引き上げ要求の実現を目指し、特区連と団結して多くの職員の要求署名を積み上げ、この結果、月例給・一時金の引き上げは勧告どおり実施された。しかし、依然として物価高騰は続いており、生活を守るための闘いを継続する必要がある。

私たちには、課題が山積している。各職場では、今までの人員削減により慢性的な残業や病欠者が増えている。今こそ、人員増を図り、心に余裕を持てる職場環境に改善すべきである。

組合員の退職や新規採用者の組合未加入などで、組合員の減少が続く厳しい状況であるが、署名活動では広く職員の協力を得ている。今こそ、労働組合の存在に確信を持つ時である。組合員の拡大には、日常的・継続的な取り組みが求められている。先輩組合員が勝ち取ってきた労働条件や各種制度拡充の歴史に自信を持ち、広く積極的に呼び掛けて組織強化を進める必要がある。

私たちは、2023年度賃金確定闘争に勝利し、仕事量に見合った人員要求を実現させ、組合組織の強化を目指して奮闘していく決意である。

以上、宣言する。

2023年9月28日

台東区職員労働組合
第74回定期大会